



バリアフリー推進レポート



中国地方で初導入・エレベーター付きリムジンバスを体験！

令和6年5月7日から、広島空港リムジンバス線に「車椅子用エレベーター」「車椅子スペース」を備えたバス車両が導入されることに先立ち、車椅子ユーザーに広く周知を図るとともに、「障害の社会モデル※の考え方」の啓発促進を図るため、導入される広島電鉄(株)と合同で、**エレベーター付きリムジンバスの発表・体験会を開催しました。**

当日は、雨の降る中でありましたが、複数のメディアにも取材していただきました！

※障害の社会モデル・・・障害は個人の心身機能の障害と社会的障壁の相互作用によって創り出されているものであり、社会的障壁を取り除くのは社会の責務である、とする考え方



広島電鉄・バス事業本部長の玉田様による説明



バリアフリープロモーターへの取材の様子



中国運輸局員も多く駆けつけました



エレベーター付きリムジンバスの全景 (広島電鉄提供)

エレベーター付きリムジンバス 発表・体験会

【開催概要】

- 日 時：令和6年度4月24日(水) 10:00～11:15
- 場 所：広島合同庁舎 海技試験場 西側スペース（広島市中区上八丁堀6-30）
- 主 催：広島電鉄株式会社 国土交通省中国運輸局
- 参加者：バリアフリープロモーター 徳政 宏一 氏
- 内 容：
 - ①バリアフリーバス車両の説明
 - ②バリアフリープロモーターによるデモンストレーション
 - ③バリアフリープロモーターのお話
 - ④中国運輸局職員による体験試乗

バリアフリープロモーターによるデモンストレーション

エレベーター付きリムジンバス 昇降の手順



①トランクスペースからエレベーターに入ります



②車椅子を固定します



③リモコンを使ってエレベーターを上昇させます



④エレベーターが車内まで到達したら、車椅子を固定します

当日はあいにくの雨でしたが、エレベーターの中に入れば濡れることなく乗車できました。周囲を囲われた状態で昇降し、運転士もこまめな声かけをするため、車椅子利用者の不安も軽減されます。

徳政様から「障害の社会モデル」、「心のバリアフリー」についてお話しいただきました

中国運輸局バリアフリープロモーター
(NPO 法人日本頸髄損傷LifeNet 理事長)

徳政宏一 様

「23年ぶりにバスの車窓から景色を見ました。心のバリアフリーについては、お互いの配慮の気持ちのマッチングだということ、お互いが優しい気持ちで支え合うことで共生社会を生み、バリアフリーをより良いものにしていくことになると思います。」

…今回のエレベーター付きバスはその思いから生まれたものであり、障害当事者にとって国内、国外で旅行するという夢が広がることを強調しておられました。



バリアフリーへの理解を深めるため、中国運輸局職員もバスを体験しました



体験した職員の感想

旋回するスペースが十分にあり、昇降の際の揺れもほとんどなく、とても安心して乗車できました。また、運転手の方が常に声かけをしてくださり、心のバリアフリーも肌で感じられる貴重な体験でした。

利用方法につきましては、下記URLから「広島空港線を車いすでご利用のお客様へ」を御覧ください。
<https://www.hiroden.co.jp/bus/airport/hiroshima.html>